

踊り子で行く 日帰り三島旅行

高1 岡崎 航志朗

はじめに

こんにちは。去年に引き続き停車場を執筆させていただく、高1 岡崎です。

今回は、2月上旬に185系「踊り子」号に乗り、日帰りで三島に行ってきました。源頼朝が源氏再興を祈願したとして知られる「三嶋大社」や、刀剣収集で有名な「佐野美術館」を訪れました。どうぞ最後までお楽しみください！

第一章 国鉄車に揺られて三島へ

1. まずは計画！

私は毎年2月上旬に日帰りプチ旅行をしている。2017年は小田原城、2018年は浅草寺に行ってきた。今年はどこに行こうか悩んだ末、三島へ行ってみようと考えた。185系は来年春に引退してしまう予定であるため、とにかく乗りたかったのだ。ちょうど佐野美術館で刀の特別展があったので、そこも訪れることにした。旅行前日に横浜駅でワクワクしながら指定席券を取った。

2. そして三島へ…

9時24分。踊り子105号（現・踊り子3号）がホームに滑り込んできた。編成はA3+C3であった。やはり15両の特急は迫力がある。小学校の修学旅行以来の185系乗車に心が高ぶる。



▲185系踊り子



▲幕表示

東海道本線 踊り子 105号 伊豆急下田・修善寺行 横浜 9:24→三島田町 10:43

早速車内に乗り込む。国鉄型車両はやっぱり良い。シートもフカフカで凄く快適な乗り心地だ。



▲車内の様子



▲車端部



▲レトロな「くずもの入れ」



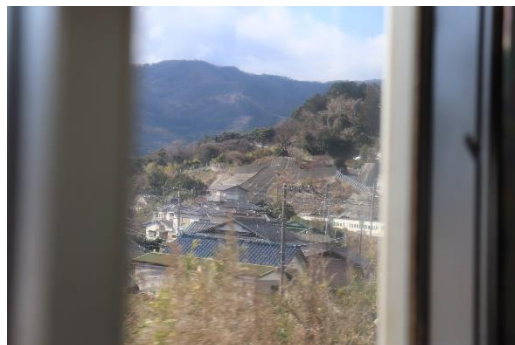
▲座席

直ぐにドアが閉まり、列車は動き出した。モーター音が心地よく聞こえる。185系にあと1年弱しか乗れないと思うと非常に残念だ。

横浜を出ると大船に止まり、そして小田原まで飛ばす。湘南の海を真横に、列車は爆音を響かせて走る。



▲湘南の海



▲カーブで見えた先頭車両

列車はあっという間に熱海に到着した。ここで伊豆急下田行の10両と修善寺行5両を切り離す。切り離し作業を見る人々が結構多く、驚いた。



▲切り離し作業が行われている



▲185系同士の顔合わせ

切り離し後、一旦修善寺行の列車のドアを閉めて後退してから再度ドアが開いた。伊豆急下田行の列車が発車すると、程なくして修善寺行きも発車時刻となった。

熱海を出発すると、丹那トンネル（7804メートル）に入る。より一層モーター音を感じることが出来た！15分程で三島に到着。その後列車は伊豆箱根鉄道駿豆線に入り、直ぐに三島田町駅に到着した。



▲三島田町駅



▲レトロな案内板

3. 刀剣乱舞のラッピング列車！

先程、三島駅で撮影したい車両がいたため、切符を買って三島へ引き返す。

撮影したい車両とは、刀剣乱舞のラッピング列車である。



▲ラッピング列車（左）



▲ヘッドマーク



▲1300系（元西武101系）の運転台

ホームでは刀剣乱舞のファンが写真を撮っていた。車内も装飾されていた。ファンが車内を撮っている中、私はただ一人運転席を撮影していた（笑）。

第二章 三島を堪能！

1. 三島のうなぎをいただく！



▲並うな丼（3870円）



▲とっても美味しそう！



▲すみの坊 大社前店

三島の美味しいうなぎを食べたかったので、うなぎ料理老舗店「すみの坊」でお昼にする。

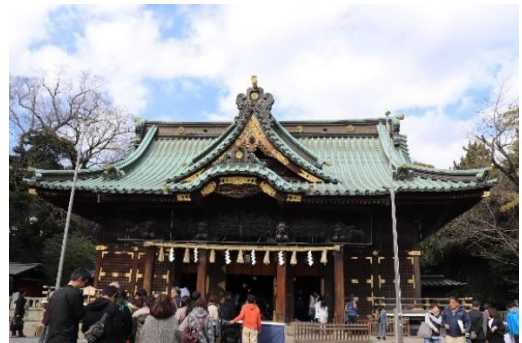
色々な丼のメニューがあったが、美味しそうなうなぎ丼を頼んだ。やがてうなぎ丼が到着！早速いただきます！

三島のうなぎは、市内を流れる富士山の湧き水にさらしているという。いざ口に運んでみると・・・非常に美味しい！脂がいい感じにのっていて身が柔らかく、最高だ！

2. 源氏ゆかりの神社「三嶋大社」



▲鳥居



▲本殿



▲総門



▲神門

三嶋大社は、創建された時期は不明だが、奈良・平安時代から三島の地に建っていたとされている。また、伊豆に流された源頼朝が源氏再興を祈願したとされており、後に源氏

は平氏を滅ぼしたことから、益々崇敬されることとなった。2000年には御本殿が重要文化財に登録された。

先ほどのすみの坊は三嶋大社の前にあり、待ち時間に立派な鳥居だなあと見てみると、あることに気が付いた。地元の方々が一礼してから鳥居をくぐっているのではないかと。私は感心してしまった。近所の神社への初詣などで鳥居の前でしっかりと一礼をしたことが無かったからである…(汗)。地元の方々を見習い、私も一礼をして鳥居をくぐった。

境内には綺麗な梅がたくさん咲いており、私は思わずシャッターを切った。



▲梅と客殿



▲美しく咲く梅

御朱印を頂いた後、本殿へ向かった。参拝客が多く、列が出来ていた。



▲本殿の彫刻



▲豪華な破風

本殿の彫刻は伊豆の名工により作られたものであり、非常に精巧であった。

3. 回遊式庭園がある「佐野美術館」

三嶋大社から歩いて10分程で佐野美術館に着いた。訪れた理由は、刀剣乱舞と佐野美術館がコラボした展覧会「名刀への道」がちょうど開催されていたからである。

会場では写真撮影が全面禁止されていたため撮影は出来なかった。国宝である「長船派長光」や、重要文化財である「吉光(信濃藤四郎)」、天下三名槍の一つである「蜻蛉切」も展示されていた。刃文もよく見ることが出来、大変興味深かった。気づけば刀剣女子に囲まれていた(笑)。



▲「名刀への道」パネル

第三章 三島にさよならを

1. 伊豆箱根鉄道を少し撮影

佐野美術館からは商店街を歩いて三島広小路駅まで歩いた。途中、ドラッグストアに寄ってみたが、マスクは品切れ…（泣）。やっぱり三島は都会だ！10分程歩くと三島広小路駅に到着する。そこから3分程で三島駅に着く。



▲3000系



▲入線する電車



▲三島駅の駅名標



▲修善寺行幕

2. 消えず残る証

東海道本線に乗り換えるためコンコースを歩いていたら、あるものを目にした。



なんと 100 系が描かれているではないか！新横浜などで 700 系のアイコンを見たことはあるが、100 系のアイコンを目にしたことは無い！



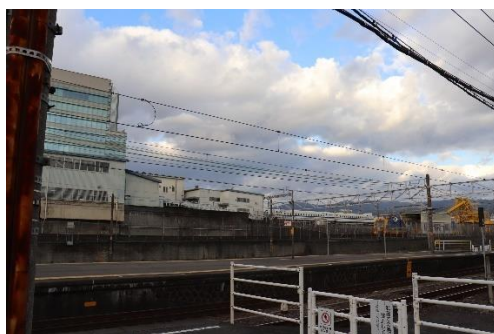
そしてまた駅構内の別の場所の案内板には 300 系が描かれていた。100 系や 300 系がまだ健在しているんだなと感動した。

3. さようなら三島！

帰りはグリーン車でゆったり帰ることにした。まずは熱海駅に向かう。…その前に少し撮影することにした（笑）。



▲踊り子 114 号 (現・踊り子 16 号)



▲新幹線ホームは少し離れている



▲313系3両 島田行



▲ホームが長い！

三島駅はJR東日本の15両編成の列車に対応しているため、ホームが凄く長い。JR東海の車両が来ると尚更ホームの長さを感じることが出来る。

東海道本線 普通 熱海行 三島 16:15→熱海 16:30

やってきたのは211系（GG7+?）。211系のモーター音を聞きながら15分。熱海駅に到着した。



▲黒船列車



▲側面がかっこいい！



▲伊豆クレイルの表示が！

そのまま乗り継ぐことは出来ないため、一度改札を出る。グリーン券を買った後、うなぎパイや車中で食べる団子などを購入。

東海道本線 普通 高崎行 熱海 16:46→横浜 18:04

久しぶりのグリーン車だ。2階席はほぼ埋まっていたが、何とか空いているところが

見つかった。



▲夕焼け染まる湘南の海



▲ちょっと軽食(笑)

窓から見える夕暮れの湘南の海はとても綺麗だった。疲れが出てきたのか、やがて寝落ちしてしまった。気づけば大船くらいまで来ていた。既に外は真っ暗だった。そして横浜に到着。車内が温かったので外が酷く寒く感じた。充実した1日だったなど満足しながら改札を出て家路につく。

終わりに

最後までお読みいただきありがとうございました。

日帰り旅行ということもあり、内容がだいぶ薄くなってしまいました(汗)。

やはり三島は東京から凄く近く、そして水や空気がきれいで、街全体の雰囲気がとても良いです！三嶋大社のようなパワースポットもあり、うなぎや三島コロッケなどの美味しいものも食べることが出来ます！バスに乗れば三島スカイウォークといったレジャースポットにも行けます！

ぜひ、皆さんも三島を散策してみたいはいかがでしょうか。

まさに今、新型コロナウイルス感染の第三波が来ているような状況で長距離の外出も憚られています。駐車場をお読みになって少しでも旅気分を楽しんで頂けたら幸いです。

〈参考文献〉

三嶋大社 <http://www.mishimataisha.or.jp/>

佐野美術館 <https://www.sanobi.or.jp/>